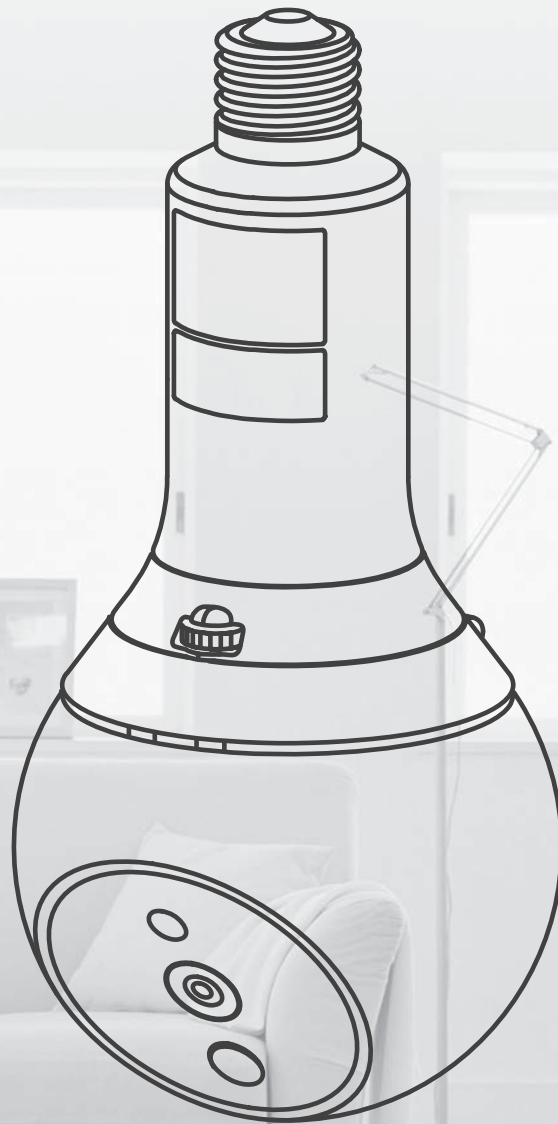


PIC-360

ユーザーマニュアル



このユーザーマニュアルは、下記バージョンでの説明内容となっております。

[Android 版 アプリ ver. v1.3.2r8924]

[カメラ本体 ファームウェア ver. v3.7.2]

- Android 版と iOS 版アプリでは表記が異なりますが、同一内容となっております。
- アプリおよびファームウェアは、改良のため予告なく更新されます。

目次

【A. はじめに】

■ 製品内容の確認	01
■ ご利用イメージ	01
■ 主な機能と特長	02
■ 安全にお使いいただくために (必ずお読みください)	03
■ 無線 LAN 製品ご使用時における セキュリティに関するご注意	05
■ 電波に関するお願い	06
■ 使用上のご注意	06

【B. 各部の名称と機能】

■ カメラ本体	07
■ 動作ランプ仕様	08
Tips: カメラを工場出荷時の状態へ戻す (リセット)	08

【C. カメラの設置と設定】

■ 専用アプリのインストール	09
■ microSD カード (別売品) の取り付け	09
■ カメラの設置方法 (電球ソケットへ取り付ける)	10
Tips: 変換プラグ (別売品) について	10
■ カメラの設定 (アプリへのカメラ登録)	11
Tips: その他のカメラ設定について 1 (WiFi ダイレクトインストール)	14
Tips: その他のカメラ設定について 2 (WPS モードの設定)	15

【D. カメラの操作と機能】

■ アプリのメニュー画面 (トップメニュー) について	16
■ ライブ映像を表示する	17
Tips: ライブ映像が上下逆に表示されるとき	17
Tips: 電源周波数 [50Hz/60Hz] を合わせる	17
■ ライブ映像の操作について	18
■ カメラの向き (パン / チルト) を 遠隔操作する	18

■ カメラ向きの標準位置 (ホームポジション) を設定する	19
■ ブロックエリア / アクティブゾーンを 設定する (アラートゾーン機能)	19
■ タイムラインの操作・再生	20
■ 録画やアラート検知を一時停止する (プライバシーモード)	21
■ プライバシーモードの スケジュールを設定する	21
■ アラート通知を確認する	22
■ クラウドサーバーに接続する (録画データを確認する)	22
■ 静止画 (スナップショット) を 撮影・保存する	23
■ メニュー画面の背景画像を変更する	23
■ 2 台目以降のスマートフォン・タブレットに カメラ設定を追加登録する	24
Tips: 追加登録台数と同時視聴台数について	24
Tips: カメラ追加登録での使用権限 (管理者とビューワー) について	25
■ 音楽・音声データを遠隔再生する (ミュージックプレイヤー)	25
■ 接続する Wi-Fi ルーターを追加・変更する (Wi-Fi 追加)	26
■ カメラの設定を削除する	27
■ 設定メニュー 1 (アラート検知)	28
■ 設定メニュー 2 (ビューワー)	29
Tips: ブラウザ (PC) でカメラのライブ映像を 視聴する	29
■ 設定メニュー 3 (録画)	30
Tips: 録画データ容量の目安	30
■ 設定メニュー 4 (音声)	31
■ 設定メニュー 5 (Wi-Fi リスト)	31
■ 設定メニュー 6 (スピーチ)	31
■ 設定メニュー 7 (その他)	32
■ 設定メニュー 8 (インフォメーション)	32
【E. 製品仕様】	33

A. はじめに

このたびは、PlugInCam ROBOT (型名 PIC-360) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、このユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用する前に必ずお読みください。

■ 製品内容の確認

お買い上げ品には、下記の製品本体と付属品が同梱されています。すべて揃っていることをご確認ください。

- PlugInCam ROBOT (製品本体)
- かんたんご利用ガイド/必ずお読みください (冊子)
- 保証書

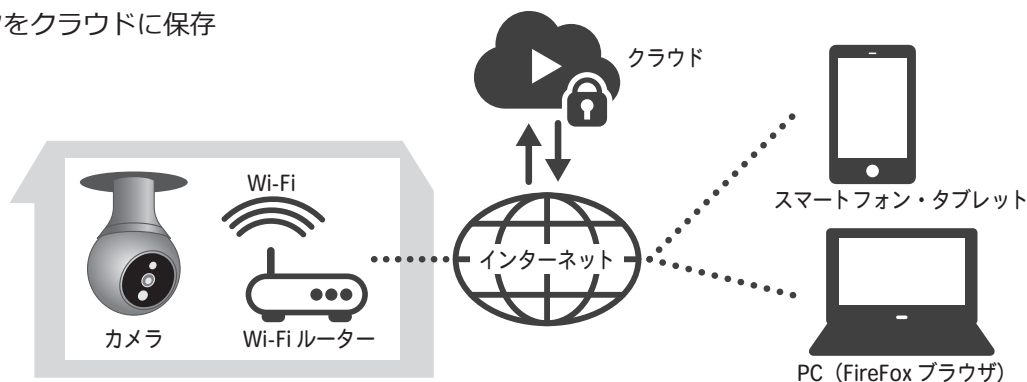
【ご注意】

お買い上げ品のほかに、本製品のご使用にはスマートフォン・タブレットと Wi-Fi ルーターを別途ご用意ください。
また、録画をする場合は microSD カードが必要です。

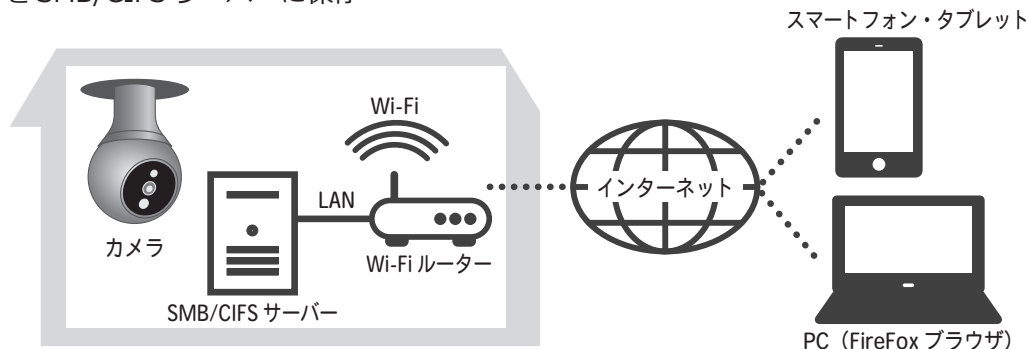
■ ご利用イメージ

PlugInCam ROBOT は、設置した室内を 360 度監視。スマートフォンやタブレットでインターネット接続して、いつでもどこでもライブ映像や録画データを確認・カメラを操作することができます。

- 録画データをクラウドに保存



- 録画データを SMB/CIFS サーバーに保存



- ※ カメラ増設が可能。複数台のカメラをまとめて一つのスマートフォン・タブレットで管理できます。
- ※ また、1 台のカメラを複数のスマートフォン・タブレット、PC で登録することも可能です。(24、25 ページ参照)
- ※ クラウド・SMB/CIFS サーバーへの録画には、カメラ本体に microSD カードの装着が必須です。

■ 主な機能と特長

● 360°オートトラッキング

カメラ前方・後方に装備した高感度モーションセンサー（計3個）で動きを監視。検知対象をカメラが自動追尾します。

● 3種類のアラート検知機能・リアルタイム通知

「動き」「音」「顔」をカメラが検知して自動で静止画を撮影、リアルタイムでユーザーへ通知します。

● 双方向同時通話

離れた場所においても、カメラとスマートフォン・タブレット間で音声通話できます。

● デイ/ナイト機能

夜間撮影可能。赤外線 LED（8個）を搭載しているため、暗い場所での撮影もバッチリです。

● 侵入者アラーム

動きや音に反応して「こんにちは！」や警告音声など、登録したサウンド（MP3形式）をカメラのスピーカーから出力します。

● BGM サウンド再生

登録した音楽や音声（MP3形式）をカメラのスピーカーから再生できます。

● アラートゾーン（ブロックエリア / アクティブゾーン）機能

スマートフォン・タブレットの画面をタッチしてマーキングするだけで、アラート検知する／しないエリアを設定できます。

● 2メガピクセルカメラ / フル HD 動画

最大フルHD（1920 x 1080）品質での撮影・録画・視聴が可能です。

● 256ビット暗号化対応

堅固な暗号化方式で、カメラのパスワードなど大事なデータの情報漏れを防ぎます。

● 映像品質の自動調整

通信回線の状況に応じて、ライブ映像の垂直解像度（360p/480p/720p/1080p）を自動選択します。

● パン/チルト操作

スマートフォン・タブレットの画面をスワイプするだけで、カメラを遠隔操作できます。

● クラウドサービス

30日間録画保存と、365日間録画保存の2種類のプランがあります。

※ Amaryllo クラウド：各種プランの詳細・料金等については下記 URL（英語サイト）をご覧ください。

（なお、本カメラの Amaryllo 機種名は「iCamPro FHD」です。）




https://live.amaryllo.eu/store/indexcloudweb_n60104.php

■安全にお使いいただくために（必ずお読みください）

ご使用前に、この内容をよくお読みのうえ製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。

本文中の表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解していただいてから本文をお読みください。

 危険	この表示の注意事項を守らないと人が死亡または重傷を負う危険が生じます
 警告	この表示の注意事項を守らないと人が死亡または重傷を負うことがあります
 注意	この表示の注意事項を守らないとけがをしたり物品に損害を与えたりすることがあります

危険

- 本製品を修理分解しないこと
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

警告

- 雷が鳴り出したら本製品に触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しない
水や洗剤などが本製品にかかると火災や感電の原因になります。
- 煙が出たりへんな臭いがしたらすぐに使用を中止する
本製品が接続されている主電源スイッチを切るか、電球ソケットから本製品を抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたことなどが原因で破損したままの状態で使用しない
本製品に故障や異常がある場合は必ず電球ソケットから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- ペースメーカー等の医療・科学・産業機器の近くで使用しない
電波によりペースメーカー等に影響を与える恐れがあります。
- 本製品の上に液体の入ったものを置かない
水がかかると火災・感電の原因となります。
- 本製品を火中に投入しない
破裂による火災やけがの原因になります。
- 本製品が入っていた袋をかぶったり、小さな部品を飲み込んだりしない
窒息の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特にご注意ください。
- 本製品を紙や布などで覆ったり、加熱したり、燃えやすいものを近づけない
火災や感電や故障の原因になります。

- 本製品を接続するケーブル部分をねじったり、引っ張ったりしない
火災や感電や故障の原因になります。
- 上下左右の回転機構部を無理に回転させたりしない
火災や感電や故障の原因になります。
- 電源は、AC100V (50/60Hz) 以外を使用しない
火災や感電の原因になるため、次のような器具には使用できません。
 1. 調光（明るさの調整ができる）機能が付いた器具（段階調光器具も含む）
 2. 誘導灯・非常用照明器具・水銀ランプ・ナトリウムランプ・メタルハライドランプなどの HID ランプ器具
 3. 白熱電球専用の人感センサー付き器具など（直流電源のもの）
- 雷雨の時や旅行などで長期間使用しない時は本製品の電源を切る
火災の原因になります。

注意

- 本製品の電源プラグは電球ソケットの奥まで確実に差し込む（時計方向にねじ込む）
落下して人がけがをしたり、故障の原因になります。
- 本製品をぐらついた台の上などの不安定なところに設置しない
落下して人がけがをしたり、故障の原因になります。
- 照明スタンドなどに取り付けるときはスタンドをしっかりと固定する
落下して人がけがをしたり、故障の原因になります。
- 本製品を次のような場所に設置しない
火災・感電の原因になります。
 1. 湿気やほこりの多い場所
 2. 調理台のそばなど油煙があたるような場所
 3. 暖房器具の近く、直射日光のあたる場所など本機が高温になる場所
- お手入れについて
お手入れの時は、AC100V 側の電源スイッチを切ってから、本製品を外してください。
本製品を外したあとで、電球ソケットに手を触れないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様のプライバシー保護に関する重要な事項です。

本製品は、電波を利用して無線ルーター（無線アクセスポイント）と接続しています。電波の届く範囲であれば場所を選ばず接続することができるという利点がありますが、その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を超えて全ての場所に届いてしまうため、セキュリティに関する設定をしっかりと行わないと、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物に成りすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、セキュリティ対策を実施することで、上記の問題が発生する可能性は極めて少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の上記の問題を、十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任において、接続する無線ルーターのパスワード設定などのセキュリティ対策を実施していただくことをお奨めいたします。

● セキュリティ対策をしないで、問題が発生した場合には、当社はこれにより生じた損害に対する責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 電波に関するお願い

本製品は、電波法の技術基準適合証明を受けて公共の電波帯域を使用していますが、ご使用にあたっては下記の点をご了承ください。

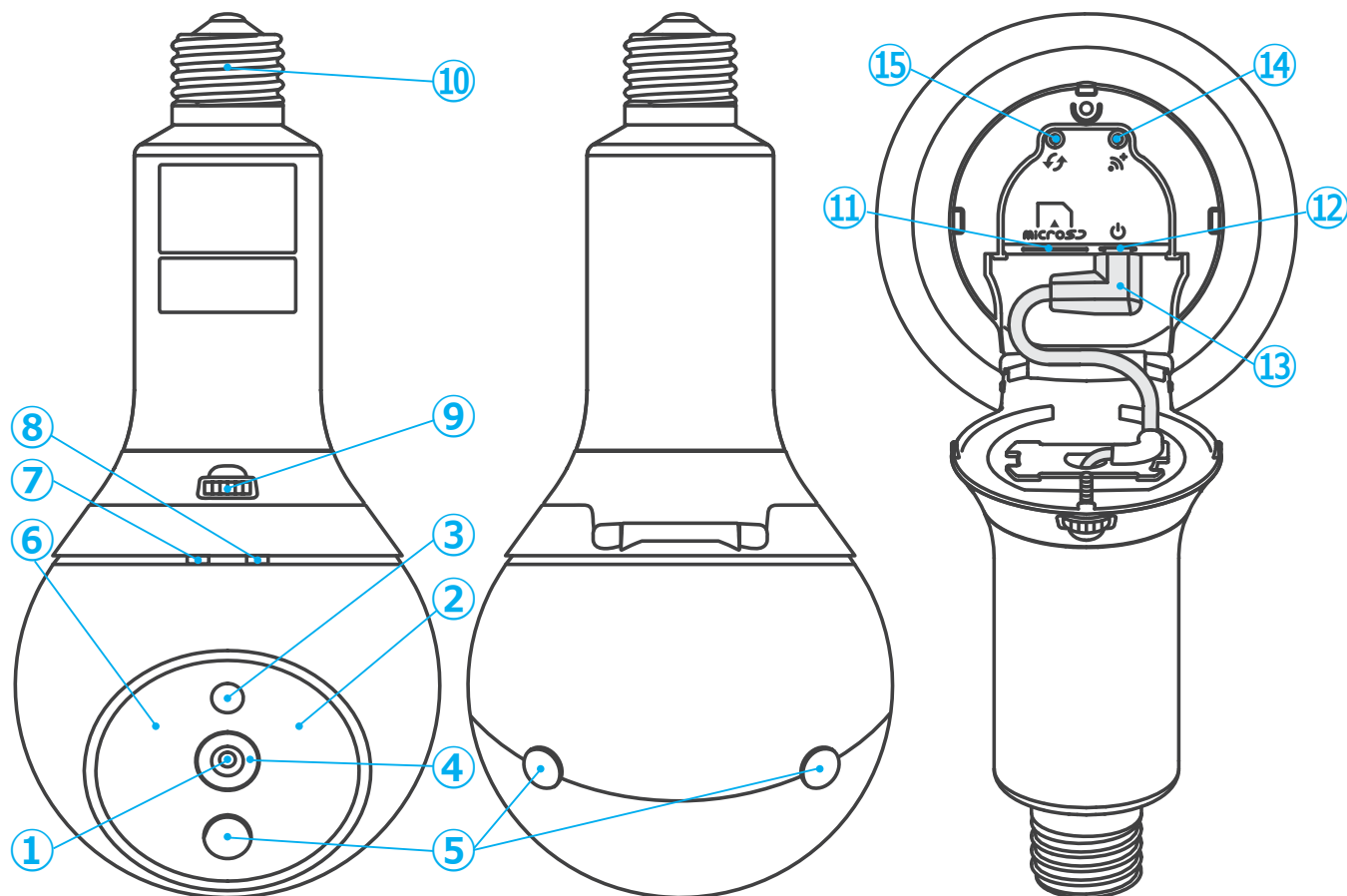
- 本製品は、2.4GHz 帯の電波を使用しています。以下の機器は同一周波数帯を使用していますので近くでのご使用は避けてください。
 1. 電子レンジなどの産業、科学、医療機器
 2. 工場の生産ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を有する無線局）
 3. 本製品と同じ無線 LAN 機器上記の機器の傍では、電波干渉により映像が停止したり、音声途切れたり、聞き取りにくい場合があります。また、本製品が同一周波数帯を使用する他の機器の性能や動作に影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 通信可能距離は、最適な条件で約 30m です。通信距離や通信速度は、建物の構造や設置環境により大きく変動いたします。
部屋の壁に鉄筋や金属、コンクリートなどが使用されていると通信できない場合がありますので設置する場所などに充分ご注意ください。
- 通信環境やスマートフォンやタブレットの性能によりコマ送りのような映像に見える場合は解像度を下げてください。音声も途切れたりすることがありますが故障ではありません。
- 無線ルーターの通信範囲外で本製品の映像を見るためにはインターネットの接続環境が必要です。
- 複数の無線ルーターが存在している環境ではご利用いただけない場合があります。

■ 使用上のご注意

- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用した場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は防滴・防水仕様ではありませんので屋外で使用することはできません。
- 本製品の電源を入れなおす場合は、電源を切り 5 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 本製品の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮したうえで行ってください。
- 設置しているネットワークの状態や接続している機器の状態により、映像・音声途切れたり、検知アラーム機能が働かない場合があります。どのような状態であっても動作を 100%保証するものではありません。
- 録画について
 - ・本製品を使用する前に、試し録画をして正常に録画されることを確認してください。
 - ・本製品を使用中に万一故障や不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証はできません。
 - ・本製品の録画中に停電などが発生した場合、録画された内容が消去されてしまう場合があります。
 - ・microSD カードやサーバーに保存した重要データについては、必ず定期的にバックアップを行ってください。保存データの破損や消去に関して弊社は一切責任を負いかねます。
- 本製品を長時間動作させると、ケースが熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品のカメラレンズ部や各種センサー部にゴミやほこりが付着すると、故障したり、本来の性能を発揮できない場合があります。定期的に本製品のクリーニングを行ってください。
- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
- 商品改良のため、仕様や外観は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

B. 各部の名称と機能







■ カメラ本体




- | | | |
|---|-------------------------|--------------------------------------|
| ① | カメラ | 2メガピクセル、フルHD (1920 x 1080) |
| ② | 赤外線 LED | 夜間監視用の赤外線 LED を 8 個搭載 |
| ③ | ライトセンサー | 周囲の明るさを検知します |
| ④ | デイ・ナイトフィルター | |
| ⑤ | モーションセンサー | カメラ前方 1 個・後方 2 個でモーション検知します |
| ⑥ | 白色 LED | 夜間のアラート検知に対応可能な白色 LED を 6 個搭載 |
| ⑦ | 動作ランプ (青色 LED) | (8 ページ「動作ランプ仕様」参照) |
| ⑧ | 動作ランプ (緑色 LED) | (8 ページ「動作ランプ仕様」参照) |
| ⑨ | 開閉ダイヤル | (電源プラグを上にした状態で) 右にまわして開く、左にまわして閉じる |
| ⑩ | 電源プラグ (口金径 E26) | 電球ソケットに時計回りにまわして取り付けます |
| ⑪ | microSD カードスロット | (9 ページ「microSD カード (別売品) の取り付け方法」参照) |
| ⑫ | マイクロ (Micro-B) USB 端子 | |
| ⑬ | マイクロ (Micro-B) USB ケーブル | |
| ⑭ | WPS (かんたん設定) ボタン | (14、15 ページ「その他のカメラ設定について」参照) |
| ⑮ | リセットボタン | (8 ページ「カメラを工場出荷時の状態へ戻す (リセット)」参照) |

■ 動作ランプ仕様

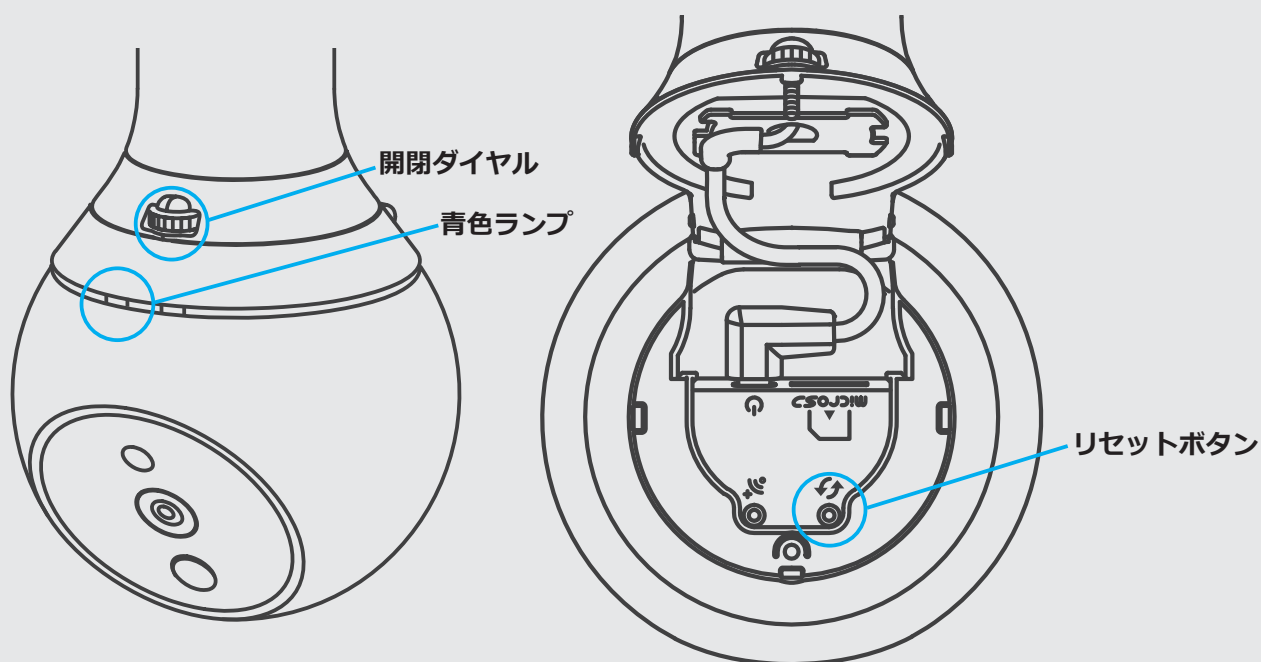
2つの動作ランプ（青色 LED・緑色 LED）がカメラの動作・状態を表します。

動作ランプの表示	カメラの動作・状態
青色ランプ・点灯 	カメラの電源が入っている
青色ランプ・点滅 	カメラが QR コード読み取り中（13 ページ参照）
青色ランプ・消灯 	プライバシーモード中。または電源を切っている
緑色ランプ・点灯 	カメラと Wi-Fi ルーターが接続されている
緑色ランプ・点滅 	カメラが Wi-Fi ルーターに接続試行中（14、15 ページ参照）
緑色ランプ・消灯 	プライバシーモード中。またはカメラ設定が未登録の状態

【お知らせ】 動作ランプは、アプリの （設定メニュー）の [LED indicators] で非表示に設定することもできます。（32 ページ参照）

【Tips】 カメラを工場出荷時の状態へ戻す（リセット）

1. カメラ電源が入った状態で開閉ダイヤルを開けて、リセットボタンを約 5 秒間長押しする。
カメラに保存されていた全データが消去され、工場出荷時の状態に戻ります。



なおリセット後、カメラが自動で回転してキャリブレーションを開始しますので、終了まで（約 1 分間）お待ちください。

C. カメラの設置と設定

製品内容のご確認後、アプリのインストールからカメラの設置・設定をします。

その他、録画データの保存などに microSD カードを使用する場合は、設置の前にカメラに装着します。

■ 専用アプリのインストール

はじめに、ご使用になるスマートフォン・タブレットに専用アプリ（Amaryllo アプリ）をインストールします。



1. 「Google Play」または「App Store」から " amaryllo" を検索してアプリをインストールする。
2. インストールが完了するとホーム画面上にアプリのアイコンが表示されるので、タップしてアプリを起動する。

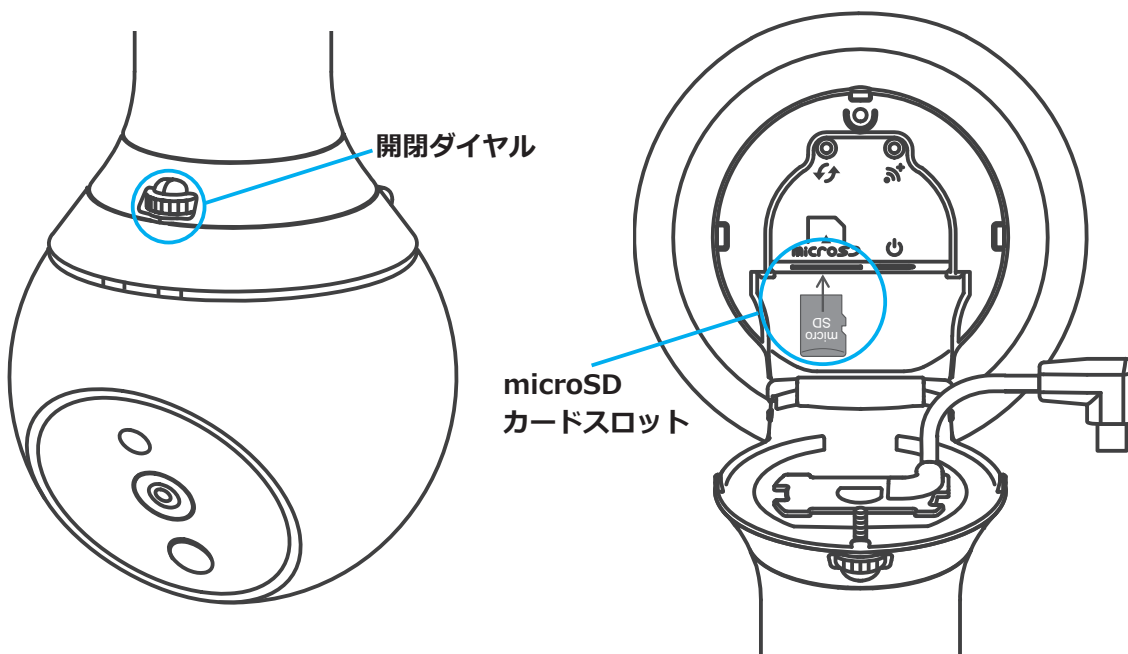
【ご注意】 対応 OS バージョンについて

本機は、Android 4.1 以降、iOS 7.0 以降のバージョンに対応しています。

■ microSD カード（別売品）の取り付け

カメラ本体に microSD カード（最大 32GB）を装着します。録画データ保存のほか、カード内の音声ファイルをカメラから出力もできます。（25 ページ「音楽・音声データを遠隔再生する（ミュージックプレイヤー）」参照）

1. カメラ電源を切った状態で開閉ダイヤルを開けて、microSD カードスロットへ挿入する。



【ご注意】

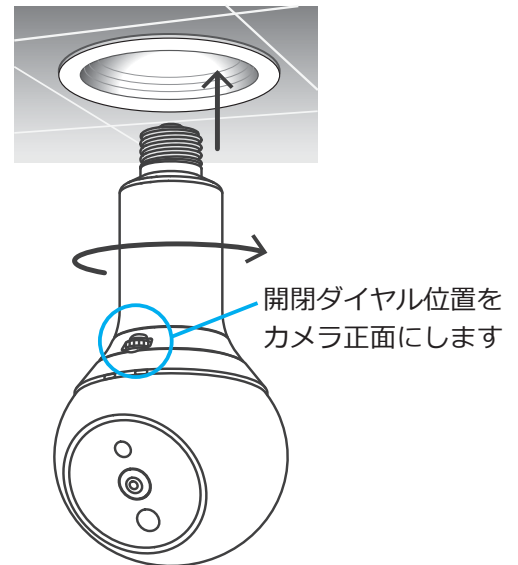
- クラウドサーバーや SMB/CIFS サーバーへ録画データを保存する場合にも、カメラ本体に microSD カードが必要で
- microSD カードは転送速度 CLASS4 以上をご使用ください。また、ノンブランド品を使用しないでください。

■ カメラの設置方法（電球ソケットへ取り付け）

電球ソケットに差し込むだけ。クリップライトやライティングバーなどへも設置できます。

1. カメラを取り付ける照明装置の電源を切る。
2. PlugInCam Robot のプラグ部を電球ソケットに差し込み、時計回りにまわす。
3. 取り付けした照明装置の電源を入れる。
電源が入ると、カメラの青色ランプが点灯します。

なお電源が入ったあと、カメラが自動で回転してキャリブレーションを開始しますので、終了まで（約1分間）お待ちください。



⚠️ 【ご注意】

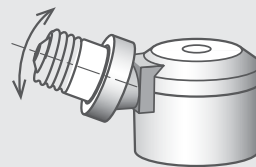
- 製品本体の取り付け時には、必ず電球ソケットの AC100V 電源を切った状態で作業を行ってください。（感電の原因）
- 電球ソケットの内部に触らないでください。（感電の原因）
- 製品本体をソケット（口金 E26）に確実に取り付けてください。（落下の原因）
- 感電や火災や落下を防止するために、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

【Tips】 変換プラグ（別売品）について

PlugInCam Robot の電源プラグは、E26 口金の電球ソケットに対応しています。E17 口金などの電球ソケットを利用する場合は、下記のような市販の変換プラグをご使用ください。安全のため、変換プラグは PSE 認定品をご使用ください。



E17 → E26 変換



E17 → E26 変換 可動タイプ

■ カメラの設定（アプリへのカメラ登録）

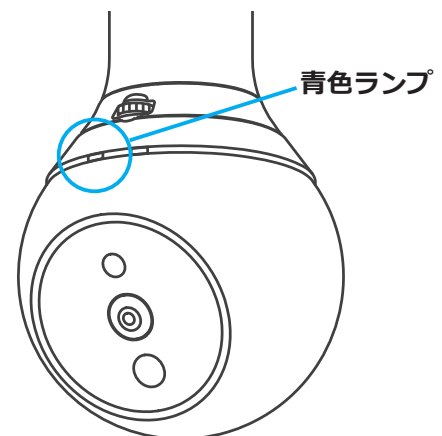
アプリを起動して、表示される画面の手順にしたがってカメラ登録します。

1. 製品の中から【PlugInCam ROBOT】の画像をタップする。

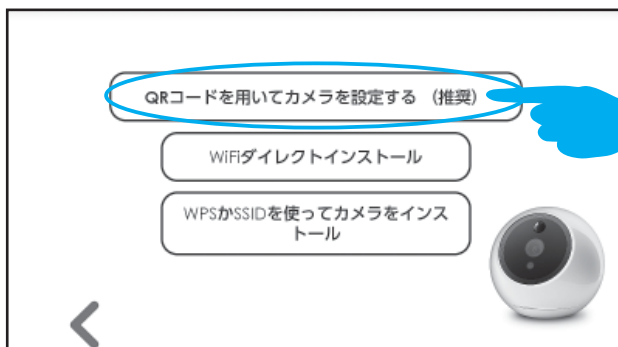


2. カメラを設置した照明装置の電源を入れて、画面の【>】をタップする。

カメラに電源が入ると、青色ランプが点灯します。



3. 設定項目の中から【QRコードを用いてカメラを設定する（推奨）】をタップする。



(次のページへ続く)

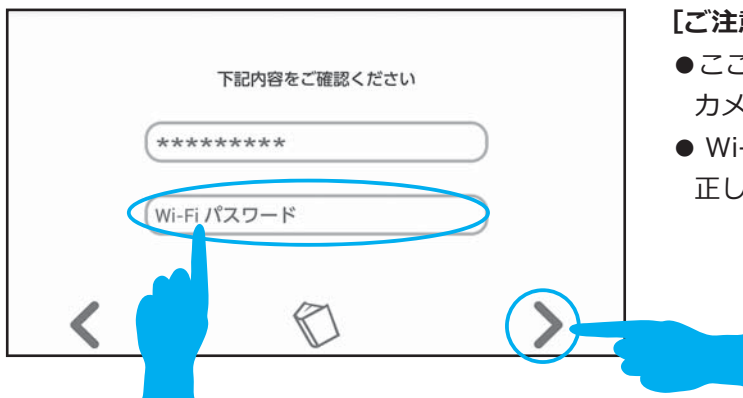
4. ご使用のスマートフォン・タブレットを Wi-Fi ルーターに接続して、画面の [>] をタップする。

カメラと接続する Wi-Fi ルーターを選んで、接続してください。

スマートフォン・タブレットの [設定] → [Wi-Fi] : On にして Wi-Fi ルーターのネットワーク名 (SSID) をタップします。



5. 続いて Wi-Fi ルーターのパスワードを入力して、画面の [>] をタップする。

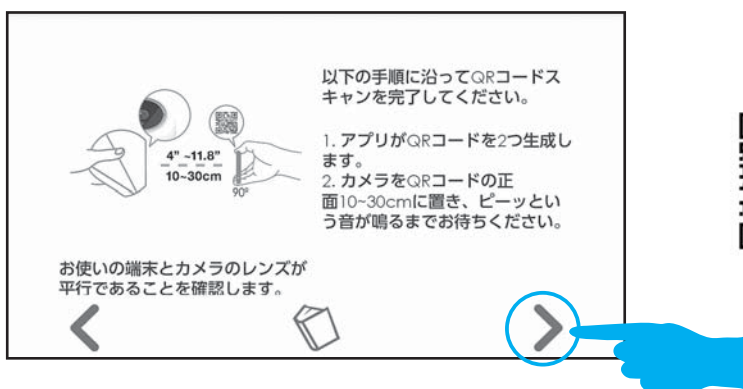


【ご注意】 Wi-Fi ルーターのパスワードについて

- ここでパスワードを間違えると、あとの手順でカメラ設定を完了できません。
- Wi-Fi ルーターの説明書を参照するなどして、正しいパスワードをご入力ください。

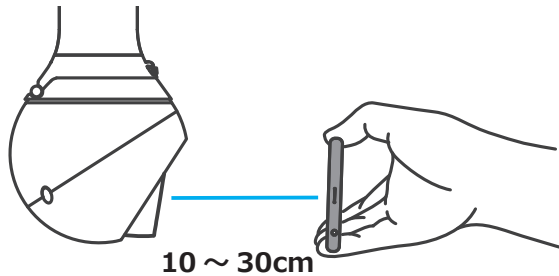
6. 画面の [>] をタップすると QR コードが表示されるので、スマートフォン・タブレットの画面とカメラのレンズ面を平行に向かい合わせる。

Android 版では 2 つ、iOS 版では 1 つ QR コードが表示されます。



7. カメラから「ピッ」音に続いて「ピピッ」音が鳴るまで、画面のQRコードをカメラに見せる。

カメラがQRコードを読み取り開始すると「ピッ」と音が鳴り、しばらくして「ピピッ」と鳴ったらQRコードを読み取り完了、スマートフォン・タブレットをカメラから離します。



- QRコード読み取り・設定中は「青色ランプが点滅」します。
- QRコードの読み取り完了後、カメラが自動でWi-Fiルーターに接続しますので、しばらくお待ちください。

8. 「インストール成功！」の画面表示とともにカメラからメッセージが流れて、カメラ設定を完了。

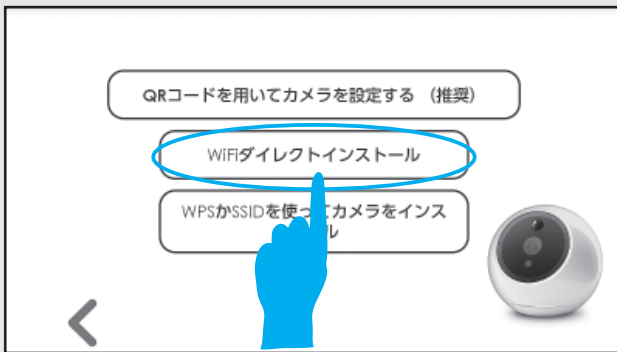
アプリのメニュー画面が表示されます。



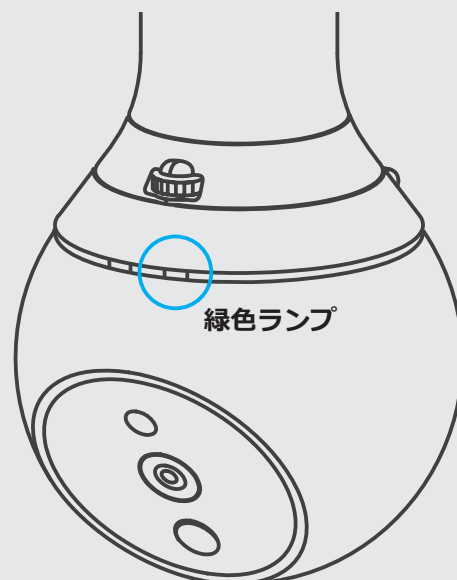
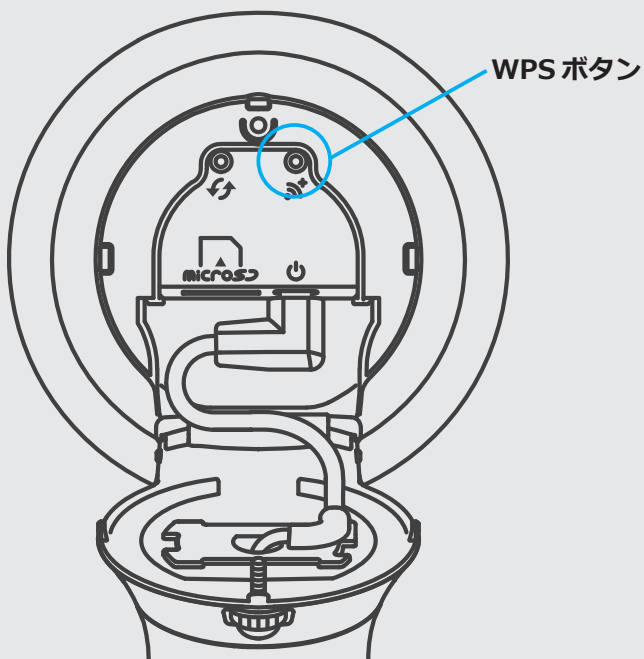
【Tips】 その他のカメラ設定について 1（WiFi ダイレクトインストール）

【QRコードを用いてカメラ設定する（推奨）】のほかにも、同一ネットワーク上にあるカメラのAMIDを選ぶだけで、カメラを登録できます。

1. アプリを起動して画面の手順にしたがって進み
【WiFi ダイレクトインストール】をタップする。



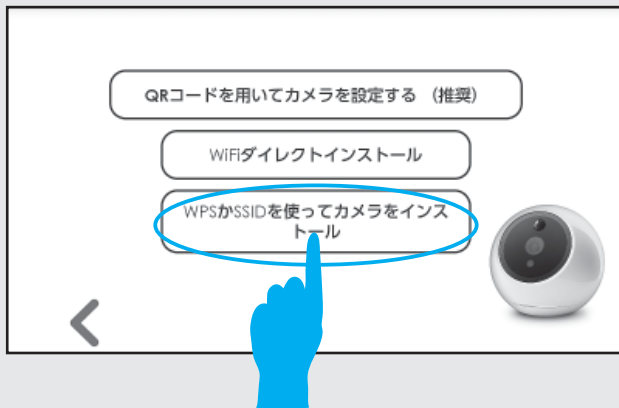
2. ご使用のWi-FiルーターのWPSボタンを押す。
WPSボタンについては、Wi-Fiルーターの取扱説明書をご覧ください。
3. カメラの【WPS】ボタンを、「ピーツ」と音が鳴るまで約5秒長押しする。
緑色ランプが点滅して、WPSモードになります。
カメラとWi-Fiルーターが正しく接続されたら、緑色ランプが点灯します。



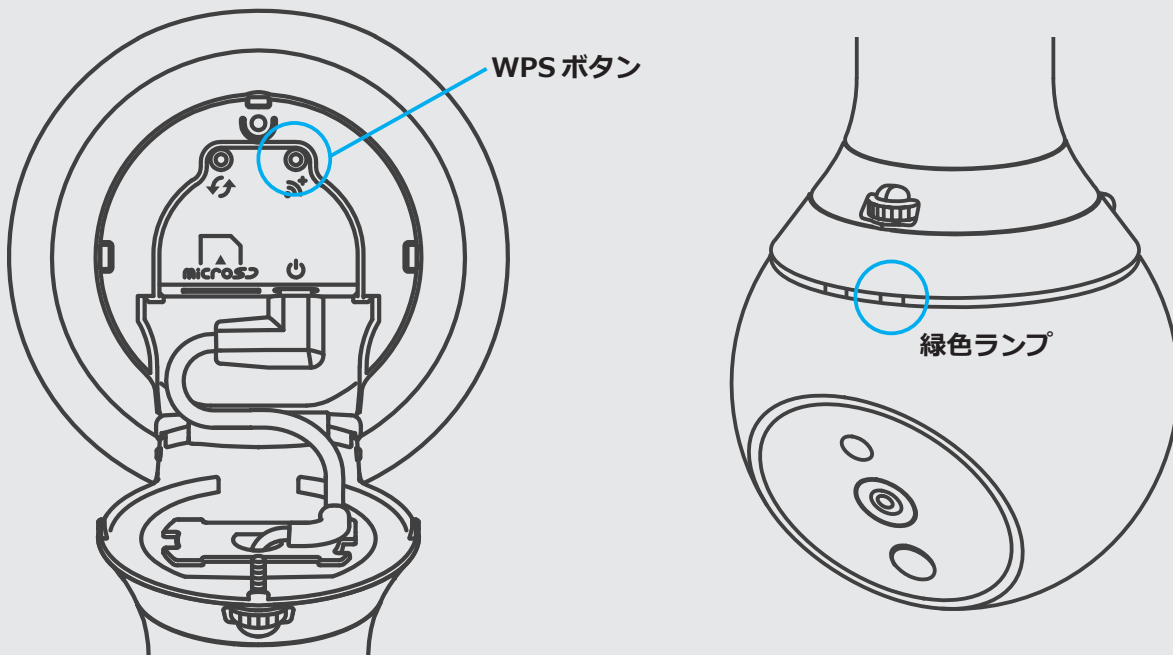
【Tips】 その他のカメラ設定について 2（WPS モードの設定）

[QR コードを用いてカメラ設定する（推奨）] のほかにも、Wi-Fi ルーターの WPS 機能を使ってカメラをインストールすることもできます。

1. アプリを起動して画面の手順にしたがって進み
[WPS か SSID を使ってカメラをインストール] をタップする。



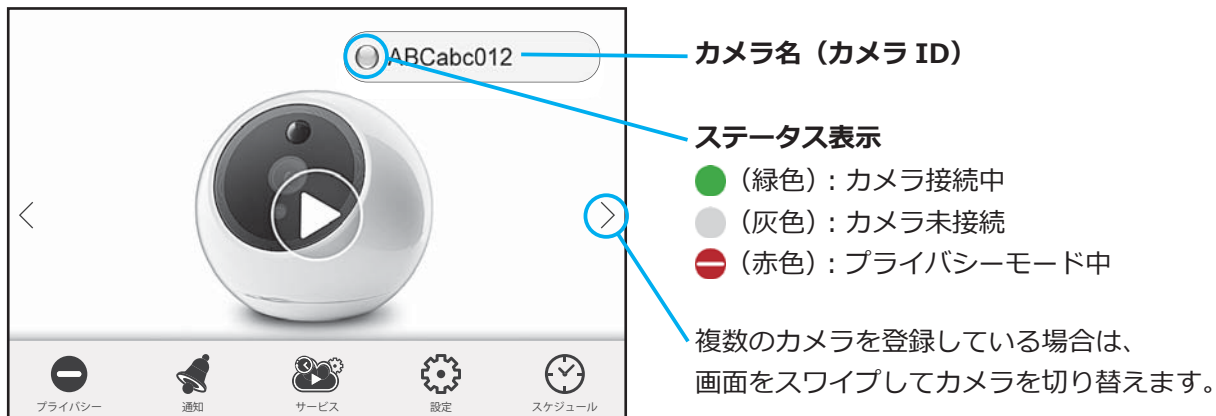
2. ご使用の Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを押す。
WPS ボタンについては、Wi-Fi ルーターの取扱説明書をご覧ください。
3. カメラの [WPS] ボタンを、「ピーツ」と音が鳴るまで約 5 秒長押しする。
緑色ランプが点滅して、WPS モードになります。
カメラと Wi-Fi ルーターが正しく接続されたら、緑色ランプが点灯します。



D. カメラの操作と機能

■ アプリのメニュー画面（トップメニュー）について

初回の設定完了後、スマートフォン・タブレットでアプリを開いたときの最初の画面（トップメニュー）です。



- | | | |
|--|-----------------|--------------------------------------|
| | プライバシー | 録画・アラート検知等を停止します |
| | 通知 | 設定した各種アラート通知を確認できます |
| | サービス | クラウドサーバーへ接続します（※要登録） |
| | 設定 | 各種設定メニュー（28～32ページ参照） |
| | スケジュール | プライバシーモードのスケジュール設定 |
| | 静止画 | スナップショットを撮影・保存します |
| | バックグラウンド | 背景画像を選択できます |
| | カメラ追加 | 2台目以降のカメラをアプリに追加登録します |
| | MP3 | microSD カード内の MP3 データを遠隔再生します |
| | Wi-Fi 追加 | 接続する Wi-Fi ルーターを追加・変更できます |
| | ヘルプ ※ | （※参考：本機の製造元である Amaryllo 社のユーザーマニュアル） |
| | 削除 | 表示されているカメラを登録から削除します |

■ ライブ映像を表示する

メニュー画面の▶(再生ボタン) をタップしてライブ映像を表示、各種操作をします。



【ご注意】 アプリの終了方法について

ライブ映像の表示画面で閉じた場合、アプリは終了せず動作状態のままです。

アプリを終了するには、必ず上記メニュー画面（トップメニュー）に戻ってからアプリを閉じてください。

【Tips】 ライブ映像が上下逆に表示されるとき

仕様上、通常設置では映像が上下逆に表示されますので、アプリの ⚙️ (設定メニュー) で上下反転してください。
(32 ページ「動画を 180 度回転」参照)

【Tips】 電源周波数 [50Hz/60Hz] を合わせる

アプリの ⚙️ (設定メニュー) でお住まいの地域の周波数 [50Hz/60Hz] に合わせてください。
(32 ページ「電波周波数」参照)

■ ライブ映像の操作について

メニュー画面の▶(再生ボタン) をタップしてライブ映像を表示、各種操作をします。







映像種類 [ライブ / 録画]

解像度 [360p/480p/720p/1080p]

映像のストリーミング解像度（垂直解像度）を表示します

タイムライン

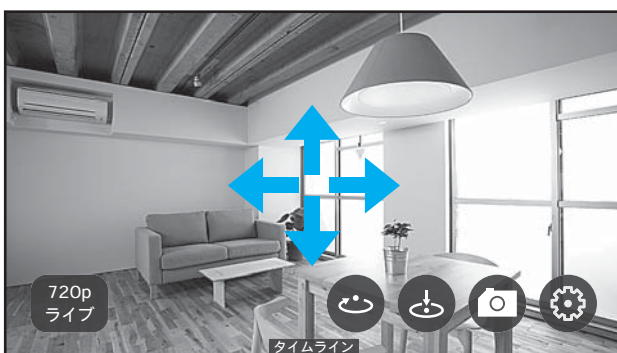
(20 ページ「タイムラインの操作・再生」参照)

-  下記 3 つのボタンを表示 / 非表示します
-  静止画（スナップショット）を撮影・保存します
-  カメラ向きの標準位置（ホームポジション）を設定します。また、ブロックエリア（またはアクティブゾーン）を作成します（19 ページ参照）
-  カメラ向きをホームポジションに戻します

- ストリーミング解像度は、アプリの設定メニューで変更できます。
(32 ページ「最大ストリーミング解像度」参照)

■ カメラ向き（パン／チルト）を遠隔操作する

ライブ映像の画面を上下左右にスワイプして、カメラの向き（パン角度／チルト角度）を手動で操作できます。



■ カメラ向き標準位置（ホームポジション）を設定する

1. はじめに、ライブ映像で画面を上下左右にスワイプして、標準位置としたいカメラ向きを決定する。
2.  をタップする。

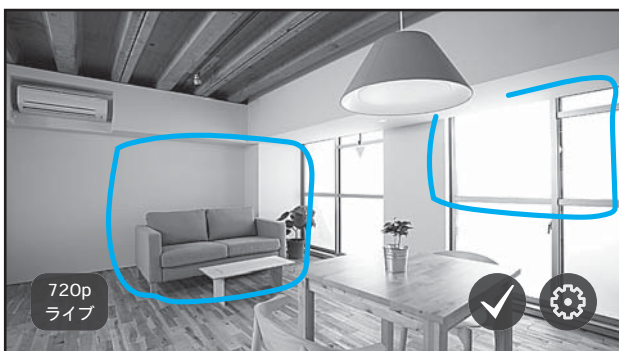


3. 「この位置をホームに設定しますか？」ウィンドウで [はい] をタップする。
4. 「ブロックエリアを作りますか？」ウィンドウが表示されるので、[はい] または [いいえ] をタップして設定を完了する。
[はい] を選んだ場合は、次の「ブロックエリアを設定する」へ進みます。

■ ブロックエリア/アクティブゾーンを設定する（アラートゾーン機能）

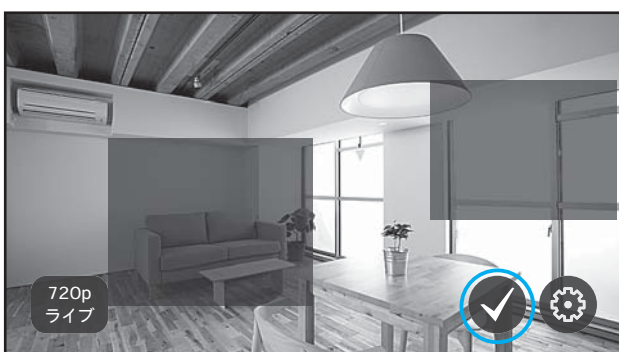
上記「カメラ向き標準位置（ホームポジション）を設定する」の手順に引き続き、ホーム画面上で、アラート検知させない場所（ブロックエリア）、またはアラート検知させる場所（アクティブゾーン）を指定できます。

1. 「ブロックエリアを作りますか？」ウィンドウで [はい] をタップする。
2. ブロックしたい場所を画面上でなぞる。




- 画面上をなぞると、四角形のブロックエリアが指定されます。
- ブロックエリアをタップすると、指定したエリアを削除できます。

3.  をタップして設定を完了する。



- 画面上に、4箇所までブロックエリアを作成できます。

[お知らせ]
本設定について、[ブロックエリア/アクティブゾーン]モードの切り替えは、アプリの  (設定メニュー) で変更してください。(28 ページ「アラートゾーン」参照)

■ タイムラインの操作・再生

タイムラインを使うと、時刻を指定して microSD カード内の録画データを見ることができます。また、動作アラート・音声アラート検知のあった時刻も一目で確認できます。

1. ライブ映像表示画面で【タイムライン】をタップする。

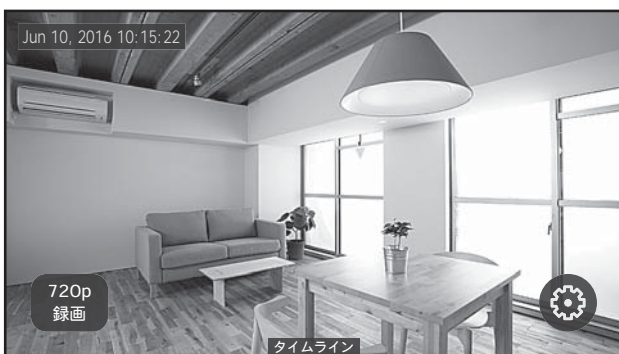


2. 画面下部にあるタイムラインを左右に動かして、希望の時刻位置に合わせる。



- [スキップ] をタップすると、希望の時刻を入力できます。
- [ライブビュー] をタップすると、タイムラインを終了してライブ映像に戻ります。

録画映像が表示されます。



- 録画映像の再生を終了してライブ映像へ戻るには、[タイムライン] → [ライブビュー] をタップします。

【お知らせ】

タイムラインで確認できる時間は、microSD カード容量により異なります。

【ご注意】 タイムラインで録画映像を見るための必須条件

- カメラ本体に microSD カードが挿入されていること (9 ページ「microSD カード (別売品) の取り付け」参照)
- アプリの ⚙️ (設定メニュー) で録画設定 [オン] になっていること (30 ページ参照)

■録画やアラート検知を一時停止する（プライバシーモード）




ユーザーご在宅中など監視不要の場合は、ボタン一つでカメラが後ろを向いて停止。録画やアラート検知・通知も停止します。カメラの電源を切ったり、レンズを布で覆い隠したりなどの手間なく、個人のプライバシーを守ります。

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、（プライバシー）をタップする。



● タップするたびにプライバシーモードの有効 / 無効が切り替わります。

● 画面上のアイコンで状態を表します。


- （赤色）：プライバシーモード有効
- （緑色）：プライバシーモード無効（通常モード）
- （灰色）：プライバシーモード無効（カメラ未接続）

■プライバシーモードのスケジュールを設定する

曜日や時間を設定して、プライバシーモードの有効 / 無効を自動切り替えします。

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、（スケジュール）をタップする。



[Schedule] 画面が開いたら、右上の  をタップして設定ウィンドウを表示、曜日と時刻を設定して [OK] をタップします。

■ アラート通知を確認する

カメラのモーション検知や音声検知などでアプリへ送信されたアラート通知を、ここで確認することができます。

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、🔔（通知）をタップする。



[通知] 画面が開いたら、画面をスクロールしてアラート通知履歴を確認できます。

【お知らせ】

アラート通知の受信形式（静止画 / テキスト）の変更については（28 ページ）をご参照ください。

■ クラウドサーバーに接続する（録画データを確認する）

Amaryllo クラウド※ へ転送された録画データを確認できます。（※要登録）

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、👤（サービス）をタップする。




【ご注意】 Amaryllo クラウドサービスの登録について


録画データと通知履歴を転送・保管できる Amaryllo クラウドサービスをご利用できます。アプリの ⚙️（設定メニュー）で Google アカウントを入力して「Amaryllo クラウドサービス」のウェブサイト（英語）へ進み、登録してください。（30 ページ参照）

■ 静止画（スナップショット）を撮影・保存する

ライブ映像の静止画（スナップショット）を撮影・保存します。


1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、（静止画）をタップする。



保存された静止画は、（通知）で確認できます。
（22 ページ「アラート通知を確認する」参照）

■ メニュー画面の背景画像を変更する

メニュー画面（トップメニュー）の背景画像を変更できます。

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、（バックグラウンド）をタップする。



[ライブビュー / フォトアルバム / 初期背景] から選択します。

■ 2 台目以降のスマートフォン・タブレットにカメラ設定を追加登録する

1 台目のカメラ登録（11 ページ「カメラの設定（アプリへのカメラ登録）」参照）を完了している場合、2 台目以降のスマートフォン・タブレットへの追加登録は、次の方法で設定します。

1. はじめに、（追加登録する）2 台目のスマートフォン・タブレットにアプリをインストールする。
2. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、（カメラ追加）をタップする。




カメラ未登録のアプリでは（左図のメニュー画面ではなく）手順 3 の画面が開きます。その場合は、そのまま手順 3 にお進みください。

3. 「インストール済みのデバイスからアクセスを取得する」をタップする。



QR コード読み取り画面が開きます。

4. 続いて、（すでにカメラ登録済み）1 台目のスマートフォン・タブレットで「管理者の QR コード」を表示する。

QR コードを表示するには、アプリの （設定メニュー）にある「管理者の QR コード」をタップします。（28 ページ参照）

5. QR コードを読み取る。

2 台目のスマートフォン・タブレットにカメラ追加登録されて、メニュー画面（トップメニュー）が開きます。

【Tips】追加登録台数と同時視聴台数について

カメラ設定を追加登録できるスマートフォン・タブレットは、台数制限なく何台でも登録できます。一方、ライブ映像を同時に確認できるのは 2 台までです。（ただし、[双方向音声：オン]（31 ページ）に設定されている場合は、視聴や操作は 1 台に制限されます。）

（次のページへ続く）

2 台目以降のスマートフォン・タブレットにカメラ設定を追加登録する（続き）

【Tips】カメラ追加登録での使用権限（管理者とビューワー）について

上記登録の場合は、カメラの全操作・設定を行える「管理者」権限を取得できます。一方、ライブ映像視聴のほか特定操作のみ行える「ビューワー（視聴者）」権限でカメラ登録することもできます。ご希望に合わせて使用権限を選択してください。

なおアプリの設定メニューからビューワー追加すると、スマートフォン・タブレットだけでなく PC でもカメラ登録・視聴することができます。（29 ページ参照）

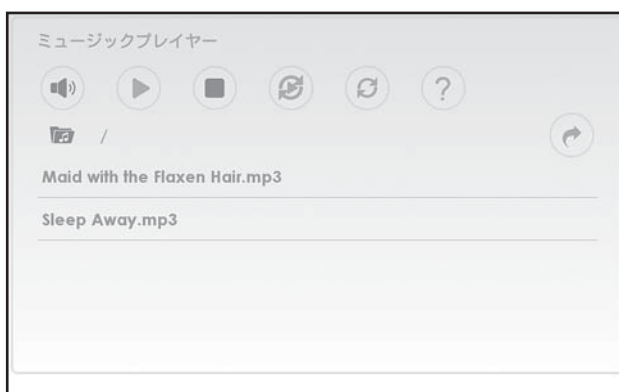
■ 音楽・音声データを遠隔再生する（ミュージックプレイヤー）

カメラに装着した microSD カード内にある MP3 データを遠隔操作・再生できます。

1. アプリのメニュー画面（トップメニュー）で、🎵（MP3）をタップする。



2. 各アイコンをタップして、ミュージックプレイヤーを操作する。



- 🔊 音量 [ミュート / 小 / 中 / 大]
- ▶ 再生
- 停止
- 🔄 リピート再生
- 🔄 リピート
- ❓ (各アイコンの操作方法)
- 🏠 戻る

【お知らせ】

ミュージックプレイヤー機能を使うには、microSD カード内に「music」フォルダを作成します。そのフォルダの中に、再生する音楽データ（MP3 形式ファイル）を格納してください。

■ 接続する Wi-Fi ルーターを追加・変更する (Wi-Fi 追加)

カメラを接続する Wi-Fi ルーターを追加・変更できます。

1. はじめに、ご使用のスマートフォン・タブレットを Wi-Fi ルーターに接続しておく。

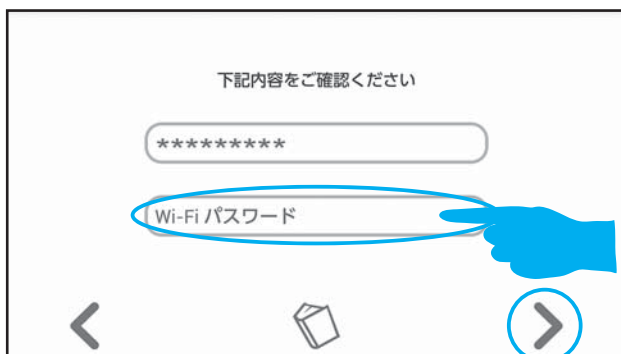
カメラと接続する Wi-Fi ルーターを選んで、接続してください。

アプリの [設定] → [Wi-Fi] : On にして Wi-Fi ルーターのネットワーク名 (SSID) をタップします。

2 アプリのメニュー画面 (トップメニュー) で、 (WiFi 追加) をタップする。

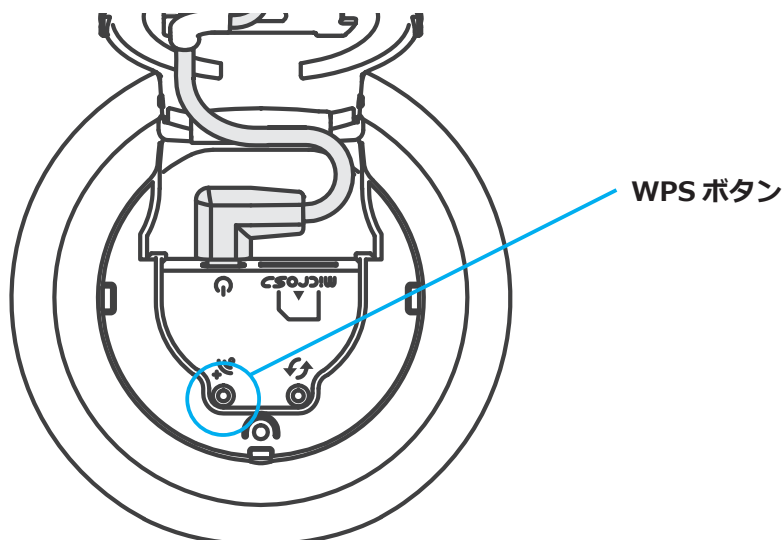


3. Wi-Fi ルーターのパスワードを入力して、画面の [>] をタップする。



画面の手順に従って [>] をタップして進み、QR コードを表示します。

4. 続いて、カメラの開閉ダイヤルを開いて [WPS] ボタンを押す。



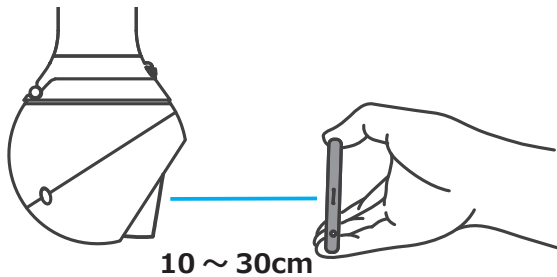
(次のページへ続く)

接続する Wi-Fi ルーターを追加・変更する (WiFi 追加) (続き)

5. スマートフォン・タブレットとカメラを平行に向かい合わせて、QR コードをカメラに見せる。




- Android 版では 2 つ、iOS 版では 1 つ QR コードが表示されます。



- カメラから「ピッ」と音が鳴ったら、スマートフォン・タブレットをカメラから離します。

6. 「カメラの Wi-Fi ネットワーク変更に成功しました」画面が表示されたら、[OK] をタップして終了する。

【お知らせ】

ここで設定した Wi-Fi ルーターは、アプリの  (設定メニュー) の [Wi-Fi リスト] に追加されます。(31 ページ参照)

■ カメラの設定を削除する

アプリに登録したカメラを削除します。

1. アプリのメニュー画面 (トップメニュー) で、 (削除) をタップする。



2. [カメラを消去しますか?] ウィンドウで [はい] をタップする。

登録していたカメラ設定が削除されます。

■ 設定メニュー 1 (アラート検知)

アプリの  (設定メニュー)、映像に動きや音あったときのアラート検知・通知に関する設定などを行います。




- | | | |
|------------------|--------------|--|
| ① プライバシーモード | [オフ / オン] | プライバシーモード切り替え |
| ② モーション追尾 | [オフ / オン] | 被写体の動きに合わせてカメラが自動追尾します |
| ③ 後方モーションセンサー | [オフ / オン] | カメラユニット後方のモーションセンサーを入切します |
| ④ 前方モーションセンサー | [オフ / オン] | カメラユニット前方のモーションセンサーを入切します |
| ⑤ 音声センサー | [オフ / オン] | 音検知する／しないを切り替えます (なお、[オン]にすると同時に「マイク」設定 : オンになります。31 ページ) |
| ⑥ 音声感度 | [最大 / 中 / 低] | 音検知の感度を切り替えます |
| ⑦ Face detection | [オフ / オン] | (人物の) 顔検知する／しないを切り替えます |
| ⑧ アラート | [静止画 / テキスト] | アラート通知の受信形式を静止画またはテキスト (メッセージ) で切り替えます (クラウドサービスの有料プラン契約した場合は、[動画] 通知も選択可) |
| ⑨ 音通知 | [オフ / オン] | アラート検知したときに、音でお知らせします (スマートフォン等端末側の音設定も必要です) |
| ⑩ 振動音通知 | [オフ / オン] | アラート検知したときに、振動 (バイブレーション) でお知らせします (スマートフォン等端末側の振動設定も必要です) |


システムイベント通知

- | | | |
|---------------------|---|-------------------------|
| ⑪ プライバシーモード有効 / 無効 | [オフ / オン] | |
| ⑫ ライブストリーミング開始 / 停止 | [オフ / オン] | |
| ⑬ デバイスオンライン / オフライン | [オフ / オン] | |
| ⑭ アラート通知 | [通知を送信しない / イベント検知毎に通知する / 過去 (1 ~ 60) 分間に他のイベントが検知されない場合に通知する] | |
| ⑮ 侵入者アラーム / ようこそ | [オフ / オン] | 侵入者に対して音を出力する／しないを設定します |
| ⑯ オーディオ | [侵入者アラーム / ようこそ / その他 ...] | 出力する音を選択できます |
| ⑰ 音量 | [低 / 中 / 最大] | |
| アラートゾーン | | |
| ⑱ 状態 | [使用可能 / 使用不可能] (🗑️ : 設定消去) | |
| ⑲ 画面表示上 | [オフ / オン] | |
| ⑳ モード | [アクティブゾーン / ブロックエリア] | |

※各設定項目の選択肢 : **太字**が工場出荷時のデフォルト設定です。

■ 設定メニュー 2 (ビューワー)

アプリの  (設定メニュー)、カメラ映像を他のスマートフォン・タブレットや PC でも視聴できる使用権限を追加します。

- | | |
|---|--|
| ① ビューワー名 | 追加する視聴ユーザーの名前を入力できます |
| ② ビューワertype | [アプリ / ブラウザ]
視聴端末を、専用アプリ (スマートフォン・タブレット) またはブラウザ (PC) から選択します |
| ③  ボタン | 上記②を選択してからタップして、視聴ユーザーを追加します |

[アプリ] を選択した場合

表示される QR コードを、ビューワー追加するスマートフォン・タブレットで読み込む

(ビューワー追加する側は、専用アプリを開いて [他の端末からカメラの使用権限を取得] をタップして、QR コード読み取り画面を開いておきます)

[ブラウザ] を選択した場合

- 権限の種類 [マルチ / シングル] を選ぶ
 - マルチ：複数の PC からカメラへのアクセスを許可する
 - シングル：PC 1 台のみアクセスを許可する
- PC 上で Firefox ブラウザを開いて、下記へアクセスする
<https://live.amaryllo.eu>
- 表示される AMID とパスコードを入力する

- | | |
|------------|---|
| ④ ビューワーリスト | 追加されたビューワーが一覧表示されます ( : 設定消去) |
|------------|---|


【Tips】ブラウザ (PC) でカメラのライブ映像を視聴する





上記「設定メニュー (ビューワー)」で [ビューワertype: ブラウザ] を選んで、PC でもライブ映像を視聴できます。

【ご注意】

ビューワー設定・視聴には、Firefox ブラウザ (バージョン 33 以降) が必要です。

■ 設定メニュー 3 (録画)

アプリの  (設定メニュー)、映像を録画する／しないの設定に加え、録画データの保存場所を選択できます。

- | | |
|----------------|--|
| ① Google アカウント | クラウドサービスを利用するには、Google アカウントを入力して「Amaryllo クラウドサービス」のウェブサイト（英語）へ進み、登録を完了します
登録中のプラン名が表示されます（登録なしの場合 [使用不可能] と表示） |
| ② プラン | |
| ③ アップグレードプラン |  をタップしてプランを変更します |
| ④ 転送モード | [無効 / 常時録画 / イベント録画] クラウドサーバーへの転送モードを設定します
●無効：転送しない
●常時録画：すべての録画データを転送する
●イベント録画：モーション検知・音声検知した録画データのみ転送する |
| ⑤ 録画 | [オフ / オン] [オン] にすると録画を開始します |
| ⑥ 解像度 | [360p/480p/720p/1080p] 録画解像度を設定します |
| ⑦ 状態 | [停止 / 録画] 録画状況の表示  をタップして最新状態に更新します |
| ⑧ SD カード | [Good/SD カードがありません]
microSD カードの装着有無・使用状況を表示します |
| ⑨ SD カードフォーマット |  をタップして microSD カードのデータ消去・フォーマットします |
| SMB/CIFS サーバー | |
| ⑩ 転送モード | [無効 / 常時録画 / イベント録画]
SMB/CIFS サーバーへの転送モードを設定します
●無効：転送しない
●常時録画：すべての録画データを転送する
●イベント録画 [オン] モーション検知・音声検知した録画データのみ転送する |
| ⑪ 状態 | [未接続 / 停止 / 録画中]
接続・録画状況の表示
 をタップして最新状態に更新します |
| ⑫ アカウント | 録画データを転送するサーバーのアカウント名とパスワードを入力します |
| ⑬ 共有フォルダ | 録画データを保存する共有フォルダのパスを入力します |
| ⑭ 使用制限 (GB) | サーバーに転送する録画データ量（録画時間）の上限を設定できます |

※各設定項目の選択肢：太字が工場出荷時のデフォルト設定です


【ご注意】 転送モード「イベント録画」設定について

- 12 分間の録画中（録画データ 1 ファイル分）に一度でもモーション検知・音声検知があれば転送します。
- なお「イベント録画」を有効にするには、あらかじめ「前方・後方モーションセンサー」「音声センサー」のいずれかが [オン] である必要があります。（28 ページ参照）

【Tips】 録画データ容量の目安

録画する画像内容によってデータサイズは異なりますが、フル HD/24fps 品質で 1 日（24 時間）録画した場合、15~30GB の容量が使用されます。

■ 設定メニュー 4 (音声)

アプリの  (設定メニュー)、カメラのスピーカーとマイクの設定を行います。


- ① スピーカー音量 [ミュート / 低 / **中** / 最大]
スマートフォン・タブレットのスピーカー音量を変更します
- ② マイク [オフ / **オン**]
[オン] にするとカメラのマイク入力が有効になります
(スマートフォン・タブレットで音声を出力します)
- ③ 双方向音声 [オフ / **オン**]
[オン] にするとカメラとスマートフォン・タブレット間で同時に会話できます

※各設定項目の選択肢：**太字**が工場出荷時のデフォルト設定です

【ご注意】

- マイク設定を [オフ] にした場合、「音声センサー」機能が無効となります (28 ページ参照)。
- 双方向音声を [オン] にした場合、カメラに接続・操作可能なスマートフォン・タブレット端末数は 1 台に制限されます。(通常は、同時に接続・操作できる端末数は 2 台まで。)

■ 設定メニュー 5 (Wi-Fi リスト)

アプリの  (設定メニュー)、カメラを接続中の Wi-Fi ルーター(ほか)一覧を表示。また新たな Wi-Fi ルーターを追加できます。

- ① Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) 接続中の Wi-Fi ルーターが表示されます
- ② [Wi-Fi 追加] 欄 タップして Wi-Fi ルーター (アクセスポイント) を追加できます
- ③ [適用] ボタン 上記② Wi-Fi 追加した場合にタップして設定を適用します

■ 設定メニュー 6 (スピーチ)



アプリの  (設定メニュー)、カメラがメール受信を音声でお知らせします。

- ① メールを受信しました [オフ / **オン**]
- ② Gmail アカウント 上記①を [オン] にした場合、希望の Gmail アカウント (メールアドレス) を入力します

※各設定項目の選択肢：**太字**が工場出荷時のデフォルト設定です。

■ 設定メニュー 7 (その他)

アプリの  (設定メニュー)、ライブ映像表示や視聴においての各種機能設定などを行います。

- | | |
|------------------|--|
| ① 最大ストリーミング解像度 | [360p/480p/ 720p /1080p]
ライブ映像のストリーミング解像度の上限を設定できます |
| ② 暗視 | [オフ/ オン] [オン] にすると夜間撮影用の IR LED (赤外線 LED) が有効になります |
| ③ 暗視感度 | [最も暗い/ 暗い/ 通常] |
| ④ 白色 LED モード | [オフ/ 自動] 夜間のアラート検知時に点灯する/しないを切り替えます |
| ⑤ タイムスタンプ | [オフ/ オン] |
| ⑥ 逆光補正 | [オフ / オン] 逆光下の場合などに画面を明るく補正します |
| ⑦ 動画を 180 度回転 | [オフ / オン] [オン] にするとライブ映像を上下反転表示します |
| ⑧ モーターロック | [オフ / オン] |
| ⑨ 解像度表示 | [オフ/ オン] ライブ映像表示中の解像度表示する/しないを切り替えます |
| ⑩ ビューワー表示 | [オフ / オン] |
| ⑪ LED indicators | [オフ / オン] |
| ⑫ 電源周波数 | [50Hz/ 60Hz] |
| ⑬ クラウドストレージ | [Amaryllo クラウド /Google ドライブ] |
| ⑭ タイムゾーン | タイムゾーンを変更します (デフォルトは [日本標準時 (GMT +9:00)] です) |
| ⑮ 静止画撮影 |  をタップするとライブ映像の静止画を撮影・保存します |
| ⑯ カメラ再起動 |  をタップするとカメラが再起動します |

※各設定項目の選択肢：**太字**が工場出荷時のデフォルト設定です。

■ 設定メニュー 8 (インフォメーション)

アプリの  (設定メニュー)、ご使用のカメラ・アプリについての情報を表示します。

- | | |
|----------------|---|
| ① アプリ ver. | アプリのバージョン |
| ② ファームウェア ver. | ファームウェアのバージョン |
| ③ 更新確認 |  をタップすると更新可能なファームウェアの有無を確認できます |
| ④ モデル ※ | 機種名称 (※ 「iCamPro FHD」 は本機の別称です) |
| ⑤ AMID | ご使用のカメラ固有の ID 番号 |
| ⑥ 表示名 | アプリに表示されるカメラ名 |
| ⑦ 管理者の QR コード |  をタップしてスマートフォン・タブレットにカメラの管理者権限を与えます (24 ページ参照) |
| ⑧ IP アドレス | ご使用のカメラの IP アドレス |
| ⑨ MAC アドレス | ご使用のカメラの MAC アドレス |
| ⑩ 当社について | PlugInCam Robot 製造元 AMARYLLO 社のウェブサイト |
| ⑪ フィードバック ※ | (※ AMARYLLO 社サポート担当への E メール送信、英語のみ対応) |

【ご注意】

- アプリのバージョンは予告なく更新される場合があります。更新可能な最新バージョンの有無は、「Google Play」や「App Store」などスマートフォン・タブレット端末側にてご確認ください。

E. 製品仕様

型名	PIC-360
イメージセンサー	1/2.7" 200万画素 CMOSセンサー
角度調整	自動 / 手動 (パン角 : 360° チルト角 : 30°)
動画コーデック	H.264、MJPEG
暗号化方式	256ビット暗号化
解像度	FHD、HD、VGA、QVGA
フレームレート	最大 1920 x 1080 : 30fps
無線 LAN	Wi-Fi 802.11 b/g/n 2x2 MIMO
ネットワークプロトコル	TCP/IP、UDP/IP、HTTP/HTTPS、FTP、DHCP、NTP、WPS
microSD カード録画	最大容量 32GB 転送速度 : CLASS4 以上 録画時間 : 約 45 分 / 1GB (解像度 [1080P] の場合) ※映像の種類・解像度により録画時間は異なります。
NAS 録画	ファイル転送プロトコル : SMB/CIFS
対応 OS バージョン	iOS : 7.0 以降 Android : 4.1 以降
電源	A C 100V ~ 240V 消費電力 : 7.2 W (AC 100 V 時)
動作環境	温度 : 0 ~ 35° C (屋内使用限定)
重量	390 g
寸法	 <p>210 mm</p> <p>100 mm 100 mm</p>
主な機能・装備	360°オートトラッキング、ナイトビジョン、 モーションセンサー、モーション検知、音声検知、 アラート (静止画 / テキスト)、オフラインアラート、 暗視機能、侵入者アラーム、双方向音声、プライバシーモード、 デジタルズーム、MIMO アンテナ内蔵

- 「PlugInCam」「プラグインカム」は株式会社ダブリュー・ビィ・ジャパンの登録商標です。
- 「Google Play™」および「Google Play」ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「Android」は Google Inc. の商標または商標登録です。
- 「App Store™」および「App Store」ロゴは、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- 「iPhone」「iPad」「iOS」は Apple Inc. の商標または商標登録です。

***PlugInCam* ROBOT**